

## 令和4年度秋季学生表彰

広島大学は、学術研究活動、課外活動、社会活動等において特に顕著な成績・功績を挙げた学生を表彰しています。

### ●学術研究活動（大学院生）

研究論文、研究業績等が国内外の学界において特に高い評価を受けた者

- ◎大学院先進理工系科学研究科博士課程後期／井口 大幹（単著2編を含む論文5編を執筆し、内1編は、結び目の橋分解の写像類群という新たな重要概念の創出とその応用を与えたことによる反響が大きく、高IFの国際誌IMRNから受理されたほか、国際会議2件を含む7件の学会発表を行うなど、関連分野の学術研究に多大な貢献をした）
- ◎大学院医系科学研究科博士課程後期／田城 翼（筆頭著者3本を含むSCI国際論文14本が採択され、日本語著書1件を出版し、国際学会において若手研究者賞に位置づけられるYoung Investigate Awardを受賞するなど、国内外において高い評価を受けた）
- ◎大学院教育学研究科博士課程後期／陳 麗蘭（査読付き論文8点、その内、単著2点を含むSSCI論文3点、その他の論文3点、計11点の研究論文を執筆するなど、関連分野の学術研究に多大な貢献をした）
- ◎大学院理学研究科博士課程後期／久野 尚之（筆頭著者として2報の学術論文を発表し、学会発表では優秀発表賞を受賞したほか、令和3年度日本学術振興会特別研究員DC2にも採択されるなど、関連分野の学術研究に多大な貢献をした）
- ◎大学院工学研究科博士課程後期／ANGGARINI UFAPA（オルガノシリカ膜の細孔径制御法として金属配位を新規に開発し、筆頭著者として論文4報の報告及び国内外の学会における報告など、関連分野の学術研究に多大な貢献をした）
- ◎大学院国際協力研究科博士課程後期／李 双金（COVID-19・地域・都市・交通・観光・健康の学融合の視点からの研究が国際的に高く評価され、IF付雑誌に掲載され、パンデミックに関する都市・交通分野の世界初の専門図書Elsevierにも論文が収録されるなど、関連分野の学術研究に多大な貢献をした）